第一礼拝次第

ﾒｯｾｰｼﾞ:渡真利彦文牧師
ﾌﾟﾚｲｽﾘｰﾄﾞ:郭永東牧師

前　奏		
頌　栄	５４０	会　衆
主の祈り		会　衆
プレイズ	「感謝と喜びを」 「いつも喜んでいよう」	会　衆
聖書朗読	マルコ 10：13～16	司　会
祈　祷	（新約聖書ｐ81）	司　会
賛　美	讃美歌１	会　衆
メッセージ	「 子どものように 」	牧　師
祈　祷		牧　師
賛　美	讃美歌３５５	会　衆
聖 餐 式		
献　金		
報　告		司　会
頌　栄	新生６７２ｂ	会　衆
祝　祷		牧　師

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

第二礼拝次第

ﾒｯｾｰｼﾞ：郭永東牧師
司会：伊禮信義先生　奏楽：郭永東牧師
聖書：マラキ１：6～14（旧約聖書 p1496）
ﾒｯｾｰｼﾞ：「日の出る所から」
ﾌﾟﾚｲｽﾞ：「 いのちの光 」
「 その日全世界が 」
賛美：　新生３３　新生５４４

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

ファミリー礼拝

ﾒｯｾｰｼﾞ：渡真利彦文牧師
聖書：サムエル記上 15 章 22～23 節
ﾒｯｾｰｼﾞ：「退けられるサウル王」

＜巻頭言＞

「レント（受難節）」

牧師　渡真利彦文

レントは受難節と言われますが、どのような意味なのでしょうか。今年のレントは３月５日が初日で灰の水曜日(Ash Wednesday)と言われます。

キリスト教会の最大の祭りであるイースター（復活祭）の前の、六つの日曜日を除く４０日間を指します。イエス・キリストが苦難を受けたことを思い起こして礼拝を守る期間です。レントは中世以来、深い悔い改めと祈りの期間とされてきました。イエス・キリストが公生涯に入られる前に、荒野で４０日４０夜の断食と祈りの時を持たれたことになぞらえて、バプテスマを志願する人たちが４０日の断食をすることがあったそうです。

ヨーロッパの人々にとって「断食」というのは肉食を断つという意味で、普通金曜日(キリストが十字架につけられた日)は肉をやめて魚料理を食べる習慣があるそうです。

この期間に六つの日曜日が含まれていないのは、日曜日はキリストの蘇られた復活の祝日の繰り返しとして守るので、断食日ではなく、祝餐日という意味で、断食期間から除かれました。

そのレント期間中は、懺悔と悔い改めを表す紫色の布を教会で用いる伝統があります。それから、レントを厳格に守る教派（カトリック教会、聖公会）の場合は、この期間中は結婚式などの祝い事は行わないのが通例となります。

レント最後の１週間（受難週）で、４つの福音書にはイエス・キリストの最後の数日間が克明に記録されています。